

に徹底したといへないのであるし、又實世間に出て
もあまり役に立つまい。次に何より作文の障害にな
るのは「文を作る」といふやうな態度であると思ふ。
作爲といふやうな考があつては何時まで掛つても、
文に活力を帯びて來ることは出來ない。「文は人な
り」である。まがりなりにも眞劍の考が心の底から
湧き出つる文でなければ文の意義はない。而して最
も大なる欠點は小供の文を矯めて大人の文とする欠
點である。小供には小供の考がある。大人には大人
の考がある。小供の文章を心からの同情を以て鑑賞
する學識がなければ作文科の効果は學がるまいと思
ふのであるが、所謂模範文などを模倣せしむるやう
な作文教授から眞の力が湧き起る筈がない。もし模
範文を見せて參考に供する必要があるば、何故にそ
の年ごろのその氣分を持つて居る小供の心の底から
生れた文章を提出しないのであるが。小供の文を書
かんと欲する心を刺撃し、文を書く力を高めるもの
は小供の生活と縁の遠い大人の作つた所謂名文では
ないと思ふ。文を書かうといふ氣も起らぬものにい
や／＼ながら題を與へて書かせて作文の効果は學ら

ないといふことは無理な注文であると思ふ。ひつじ
くせに議論などしては濟みませぬが承知の出來のな
いことは感服きだませぬ。感服のできないことは承
知が出來ませぬ。

獨新

逸大

の學

昨年暮にフランクフルトに新しい大
學の設けられたことは既に御承知のこと
存します。
一八〇九年奈翁戰爭の間にベルリン大
學の建設されたといふ尊い回想が目下の
戰亂中に於けるこの新大學の創立を著しい感しを以
て迎へさせたといふことはドイツの諸新聞に著しく
現はれて居ります。開校式は只演説と祝辭とだけ
で森嚴なる空氣の裡に行はれました。Frankfurter-
Neitung に依りますと、其の組織に於て、都市經營
の大學たる點に於て、當該教官に於て特別の意義あ
る大學であることを力説して居ります。學科は在來
の因襲的の四科制度でなくて法科・醫科・文科・理科
及經濟・社會學の五科より成り、神學がないといふ
ことは注意すべき點であります。特に都市經營の大
學といふことはドイツの教育制度の新問題で其の發

達に興味を以て注意せられて居るのであります。

このことは別に新らしい報告ではありませんが、
目下の戰亂中に於ける獨逸のこの意氣は我々には決
して看過すべきことではないと存じます。フランク
フルト大學の創立を以てベルリン大學創立の當時に
比し、意氣軒昂敢て勇往邁進せんとする元氣に充ち
て居ることは我々の深く注意すべきことではないか
と存じます。

近時、尊敬すべき識者の間に我が國の教育の効果
の少なきを慨嘆する聲を聞くことは決して少なくな
いのであります。私はこゝに學術以外の時事を報導
し評論する自由を有しませんが、教育界の現状は果
して現在及び近き將來の日本帝國の國運に對して全
力を竭して居るであらうか。教育者は果して世界に
於ける日本の關係の年ごと日ごとの推移を正しく觀
測して居るか。學生の精神は明るい、強い、大い、深
い元氣で充されて居るか。ベルリン大學建設の背景
を思ひフランクフルト大學創立の現況を考へてドイ
ツ民族の意氣に想到すれば、ひつじと雖ひつくりし
て居られないやうな感じが致します。

中に時 等於間 教け經 育る濟

これに就いてもう一つ申し上げたいと
思ひますのは、世界に於ける教育の大勢
が、生々した効果 Efficiency を舉げる工
夫に熱中して居ることでありませぬ。

たゞへば學科の内容・教授法・試験法等
に於てどうしたら大い効果を得られるだらうかと實
驗心理的に研究して居ります。本誌にも教授に於け
るエヒキエンシー問題の一例を掲げました。試験
法は都合上省略しましたが、こゝにもう一つ、これ
等の問題と關聯して時間の經濟といふことが研究せ
られて居ることを申し上げて置きます。

もし教育が數年を費しながら散慢で皮相的であつ
たら、人生全体の上から見て、これ程、時間の不經
濟はない。

ドイツでは生徒が240日出席しアメリカでは180
日出席して居る。どうもこれでは時間が足りない。
何故健康な男生を一週六日だけで止めるだらうか。午
後の時間をどうするのか。夏休も長に失する。もつ
と時間を經濟的に用ひたらどうかといふ意見が起つ
て居る。中村春二氏は夏休を與へない。又、生徒を